

再録随筆 ; 雑穀物語 8 山中進・三千恵夫妻

木俣美樹男

植物と人々の博物館

Stories of Millet 8: Mr. & Mrs. Yamanaka, Susumuchan and Michy

Mikio KIMATA, Plants and People Museum

奥秩父の中津川で 1991 年から 2000 年まで、エコミュージアム大滝や冒険学校ほか多彩な環境学習活動を展開しました。私にとっては最高水準の冒険学校の実践で、環境学習理論の構築にも有効でした。これらを強力に支えてくださっていたのは山中進・三千恵夫妻、即ち進ちゃんとミッチーでした。

高木文雄先生にお願いして、林野庁秩父営林署管轄の造林宿舎大河俣小屋を借用して、自然文化誌研究会のメンバーで修繕して、第 4 回冒険学校のベースキャンプを作り始めました。修繕の技術指導は技術科のコニちゃん(小西司)でした。中津川に通い始めて宿泊するようになったのが進ちゃんの民宿中津屋でした。コニちゃんと進ちゃんは意気投合したのでしょうか。ここから山中夫妻と自然文化誌研究会冒険探検部のメンバーや参加学生、子供たちとの強い友情が始まりました。たくさんの思い出が、私にもありますが、2 つのエピソードを記して、進ちゃんの追悼にしたいと思います。

私が冒険学校の意味と可能性を確信した場面です。子供たちに本物を体験してほしいので、進ちゃんに炭焼きを教えてくださいました。火を扱うことはとても危険で、技術に加え、その場での集中力がいります。ある子供が浮かれていたので、炭出しは危険だから進ちゃんは本気で叱りました。その瞬間に、子供の目の色が変わりました。炭焼きのおじさん、進ちゃんへの信頼と尊敬の眼差しになったのです。

学生たちがミッチーの誕生日だったかに、ミュージカル「マンマ・ミーヤ」のチケット

を贈ったのです。とてもうれしかったミッチーの笑顔を見て、私は彼らの厚情に感謝しました。

冒険学校の拠点が甲斐小菅村に移って、私は疎遠になりましたが、当時の学生たちは終生のお付き合いをしていました。自動車運転を止めたので、秩父に進ちゃんを訪ねることもできず、今生で会いたいと思いましたが、中津川キャンプ場の幸島さんらも一緒に此岸で秩父錦を飲んで、いずれ大宴会をすることになります。

秩父へも雑穀栽培調査には通いました。山中玉吉さんには栃餅の作り方を習いました。甲武信小屋の山中親子・孫にもお世話になり、やっさん(小川泰彦)やみどりさん(横山緑)達は毎年、登山道整備に通いました。いつも最初にやりだして、突っ走り、あとはお任せというパターンで、自らの人生を反省し、自然文化誌研究会の方々には申し訳ないです。環境主義の私が言うことではないですが、正直に言えば、秩父の山岳道路のまだ暗い早暁を普通自動車で歩くことは楽しかったです。暗闇でキツネにも会えるし、日の出と山の神が拝めるからです。ここでも面白い年月を過ごしました。